

お知らせ

正しい119番通報要領について



119番通報の中には、「火事！火事！早く来て！」と言って電話を切る人がいます。これでは場所が分からないため、消防車の出動が遅れてしまい、被害が拡大し大惨事になったり、助かるはずの命が助からなくなる場合もあります。

正しい119番通報が、迅速・的確な消防活動につながります。

いざという時に備え、電話機のそばに自宅の住所や電話番号などの必要事項を書いたメモを貼っておくなど、普段から落ち着いて正確な通報ができるように心がけてください。

119番通報のポイント

1 火災・救急の別

「火事です」又は「救急です」と落ち着いてはっきり言いましょう。

2 場所

住所は正しく、詳しく言いましょう。

目印となるビルや公園、交差点名なども伝えてください。

3 火災・事故等の状況

「○階建てのビルの△階が火事です」など、何が（誰が）どうしたかを正確にわかりやすく言いましょう。

4 通報者の氏名連絡先

「私の名前は、〇〇です。電話番号は、△△△-△△△△です。」と通報者を明らかにしてください。

注) ここ数年、携帯電話等からの119番通報が増加していますが、携帯電話からの通報では、通報地点と異なる近隣地域の消防本部につながる場合があります。この場合には、通報地点を管轄する消防本部へ119番通報の転送が行われますが、消防本部から通報内容について再確認する場合がありますので、現在地及び通報に用いた携帯電話番号を正確に伝えるとともに、通報後は、しばらくの間、携帯電話等の電源を切らないようにしてください。

